

数学科の学生たち

数学科 主任 平田(河野) 典子

大学の至宝は何と言っても学生である。数学科の学生は素直で心優しく、しかし芯の強い者が多いようだ。1962年度卒業生に始まり、2018年3月までの数学科卒業生総数が5,349名。修士課程(博士前期課程)数学専攻修了者の総数450名、また博士課程(博士後期課程)数学専攻修了者総数は、15名である。卒業生や修了生においては文字通り各界で活躍する者が多いが、特に中学校・高等学校の数学教員はかつての卒業生の過半数を占めていた。現在も首都圏においては卒業生が多く、初等・中等教育を担う。また、コンピュータ黎明期の後に現れたPC98シリーズなど我が国で一世を風靡したパーソナルコンピュータの開発にも、卒業生が深く関わって来た。数学研究者・高等教育機関の教員としては、日本大学理工学部数学科・日本大学理工学部一般教育数学系列・日本大学生産工学部をはじめとした国内外のいくつかの大学に本学科出身者が奉職する。最近では企業において数理工術者が求められることが特に増え、情報通信業・金融保険業・製造業などに従事する者が多い。企業の研究所で研究職に就く場合もあるようだ。



千葉県警生活安全部長杯 CTF 大会



電子情報通信学会・技術と社会・倫理研究会における学術奨励賞受賞

在学中の学生活動として、学生・大学院生による学会発表や研究集会講演も増えつつある。本年度には情報セキュリティ技術を競う千葉県警生活安全部長杯に、数学専攻修士2年生が参加した日本大学理工学部チームが優勝した(写真左上)。学会の学生発表賞の獲得もある(写真右上)。また本年度夏にカナダで行われた、フリスビーを用いたバスケットボールに類似のアルティメット競技世界大会(ワールドジュニア大会)日本代表チームに数学科2年生が参加し、個人に対してMVP賞を授与され、桜数会からも表彰を受けた(写真次頁)。



桜数会からの表彰と言えば、他にも様々なものがある。情報処理推進機構の実施する国家試験や TOEIC テストなどの外部の試験で一定以上の成績をあげた数学科の学生に対しては、桜数会から半期ごとに表彰をしていただいている。桜数会という数学科卒業生の会から、賞状と奨励金をいただいて直々に表彰されることは、学業の大いなる励みとなりその後の自信につながると思われる。数学分野は一般的に賞が少ないのであるが、桜数会役員のかたがたの手作りの賞状を受け取って嬉しそうな学生の表情を見るにつけ、教員もまた誇らしく目を細めるのである。



平成 30 年 11 月桜数会奨励賞授与式

真理を重んじ、論理を組み立てることで鍛えられた者たちは、好機に恵まれれば遺憾なく本領発揮するのである。頼もしからずや。